

三善晃 曲

抒情小曲集 萩原朔太郎詩

- 1 ほおずき
- 2 少女よ
- 3 雨の降る日
- 4 小曲
- 5 五月

高田三郎 曲

「パリ旅情」 深尾須磨子詩

- 1 さすらい
- 2 売子
- 3 パリの冬
- 4 街頭の果物屋
- 5 降誕節前夜
- 6 市の花屋
- 7 冬の森
- 8 すずらの祭

平井康三郎

夏の宵月 北原白秋詩

びいでびいで 北原白秋詩

平城山 北見志保子詩

月の光は 鈴木松子詩

秘唱 西條八十詩

— 愛と平和への祈り —

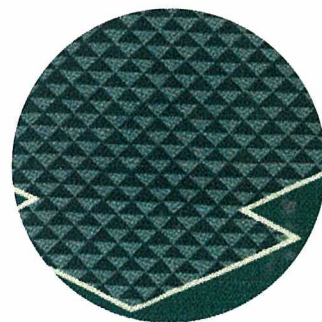
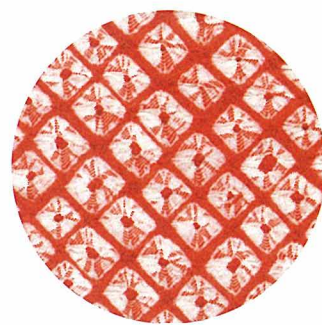
鳳仙花 三木稔曲 大黒恵子詩

一本の鉛筆 佐藤勝曲 松山善三詩

悲しくなったときは 中田喜直曲 寺山修司詩

歌をください 中田喜直曲 渡辺達生詩

前中榮子、 日本の歌をうたう



第19回

Eiko

Maenaka Soprano Recital

Piano 花岡千春

日時：2008年7月3日（木） 場所：東京文化会館小ホール 19:00 開演（18:30 開場）

入場料：4000 円 後援：財団法人東京二期会 二期会日本歌曲研究会 社団法人日本演奏連盟

マネジメント：財団法人東京二期会 チケット・お問い合わせ：東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

二期会チケットセンター 03-3796-1831 前中榮子事務所 048-479-1540（同 FAX）



前中 榮子

ソプラノ

Eiko Maenaka
Soprano

大阪府堺市に生まれる。大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。

伊藤京子、中山悌一、浦山弘三、レッサ・コレワ（発声）各氏に師事。

二期会関西支部研究生修了後、東京に演奏活動を移す。

1980年ジョイントリサイタル、1982年第1回リサイタルを開き東京での演奏活動を開始、

1985年第2回リサイタルでは、日本歌曲の言葉に対する絶妙なリアクションとヒューマンな歌唱表現を称賛されNHK・FMの推薦を得る。

1986年より「日本の歌をうたう」シリーズを始める。

1988年、作曲家・湯山昭氏をゲストに「湯山昭のタベ」を開く。

1989年韓国に招かれ、心身障害者の為のチャリティーコンサートをソウルで12回公演、好評を博す。

1991年ミュンヘンにてハンス・ホッター特別マスターコース講習会に参加、

1995年第10回記念リサイタルでは作曲家・中田喜直氏をゲストに、

山田康子基金の助成を得て「中田喜直の世界」を開催、

1996年所沢出身の女流歌人（三ヶ島霞子）の詩を歌いNHKニュースや埼玉テレビで放映される。

CD・尺八・十七弦と共演の「じゃがたら文」がN・Yリンカーンセンターのホールで日舞と共演。

第11回リサイタルを東京・大阪で開く。

1998年、母校、篠山鳳鳴高等学校音楽学部創部50周年記念と

たんば田園ホール開館10周年記念主催公演リサイタルでは満員の観客にて好評を博す。

1999年、丸木美術館主催8月6日「ひろしま忌」に出演、

近年では「愛と平和への祈り」をサブタイトルに毎年リサイタルを開催、

二期会日本歌曲演奏会に毎回出演等、日本歌曲を中心に演奏活動を続けている。

これまでのリサイタルでは音楽の友・音楽現代・ショパン等で好評を博す。

'90・'92・'96・'98・'00・'03・'08年ライブCD発売。

04年三鷹文化センター風のホールにて録音のCD「日本の歌に魅せられて」を発売。

日本歌曲の深さに年々魅せられている。

二期会会員・日本演奏連盟会員・Il canto del cuore（歌は心）主宰・国際基督教大学高等学校非常勤講師。



花岡 千春

ピアノ

Chiharu Hanaoka
Piano

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業、同大学院ピアノ専攻科修了。

在学中よりNHK-FM放送、毎日新聞社主催「毎日ソリスト」などに出演。

故・安川加壽子、矢部民女史らに師事。大学院修了後、フランスに留学。

パリ・エコール・ノルマル音楽院に入学、アルフレッド・コルトーの高弟ジャン・ミコー氏に師事。

演奏家資格の試験で第一等首席を取得。以後は同院のアシスタントとして指導に当たる。

その後イタリアに居を移し、カセッラの高弟ピエロ・グワリーノ氏のもとで古典イタリア音楽、

及び近・現代のフランス、イタリア音楽の研鑽を積んだ。

フィナレ・リグレ国際ピアノコンクール、パルマ・リスト国際ピアノコンクールなどで上位入賞。

イタリア国立シチリア交響楽団、RAIイタリア放送交響楽団と共演や、

パリ・ユネスコ本部での音楽会に出演。

帰国後は、ソロ・リサイタルをはじめ、室内楽や歌手との共演、

CD録音や放送（NHK-FM、TBS、NHK衛星放送）に活躍。

『音楽現代』『ムシカノーヴァ』誌などの、日本人ピアニストのランキングで常に高い評価を受けている。

1996年から8年間秋田大学の助教授、2004年4月から国立音楽大学教授として教鞭を執っている。

フランシス・ブーランクのピアノ独奏曲全曲演奏会（本邦初）、ジェルメーヌ・タイユフェール

やタンスマンの作品展などは、各方面から評価を受けたが、

特に1999年に開催した『花岡千春ピアノ独奏曲』で芸術祭大賞を受賞。

日本の中堅ピアニストのひとりとして評価を固めている。

フランス、トルコ（文化庁派遣）、台湾などの海外公演、

2003年3月にパリ日本文化会館で開催された『日本の女性作曲家とタイユフェール』に

焦点を当てた演奏会は、日仏両国で大きな反響を呼んだ。

演奏活動と共に、日本各地のコンクール審査員を歴任。

2002年からは文部科学省の『若手芸術家海外派遣』制度の選考委員に就任。

欧米での派遣研究員の実状や文化庁の支援事業等の視察、調査などに携わっている。

前中 榮子 第18回リサイタルライブCD「日本の歌をうたう」 2008年5月発売（定価2500円）

収録曲目：木下牧子曲：うぐいす／ほんとにきれい／ロマンチストの豚／さびしいカシの木／六つの浪漫／山田耕作曲：赤とんぼ／紅殻とんぼ／城ヶ島の雨／曼珠沙華／愛と祈り／中田喜直曲：だからその海をみない／武満徹曲：死んだ男の残したものは／他

ピアノ：花岡千春